日本工学院八王子専門学校開講年度		2019年度(平成31年度)		科目名	卒業制作			
科目基礎情報								
開設学科	パソコン・ネットワーク科		コース名				開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修			時間数	120時間
単位数	4単位		授業形態	実習				
教科書/教材	数材 各グループごとに必要に応じて書籍を使用して良い。インターネットの情報や図書館の書籍も積極的に活用すること。							
担当教員情報								

担当教員 西部 実務経験の有無・職種 有・システムエンジニア

学習目的

パソコン・ネットワーク科で学んださまざまな知識や技術を基に、総括として目的を持ったアプリケーション・システムを制作する。グループごとに 作業に取り組み、自ら必要なことを学びつつ、他のメンバーと協力しあいながら、これから社会人として必要とされる協調性やコミュニケーション力を 身につける。プロジェクトを進める上で必要なスケジュール管理、課題管理、情報管理などを意識しながら、個人ごとの作業状況を把握し、複数の人間 が関わる実務に近い開発の体験を行うことを目的とする。

到達目標

学んだ知識や技術を集約し、グループで協力しながら1つの作成を制作し、卒業展で発表することが目的となる。一人で作業するだけではなく、他の メンバーと協力・連携をすることを意識しながらスケジュール通りに作業をすることができるようになる。コミュニケーションの重要性を理解し、自分 のことだけではなく、他のメンバーの状況を確認しながら必要であれば軌道修正を行い、作業ができるようになる。また作業期間が決まっているため、 期間内に決められた目標を達成できる能力を身につける。

教育方法等

グループを作成し、テーマを1つ決め目的を持った作品を制作する。実装する機能やメンバーの役割分担、スケジュールなどを決定後、設 計書を作成しプログラミングを行う。 授業概要

注意点

授業開始時にグループを作成し、そのグループでテーマを決め、最後まで作業を行う(途中でのグループ変更はできない)授業で必要とな る資料はグループ単位で準備すること。計画と役割分担はしっかり行い、バランスを取ること。評価はグループ単位で行うため、メンバーそ れぞれが責任を持って作業をすること。総授業時間の4分の3以上出席していない場合、評価対象にならない。

	種別	割合	備 考
評	試験・課題	40%	成果物を総合的に評価する
価	小テスト	0%	
方	レポート	20%	個人・グループごとの作業内容の報告書の内容・提出状況を評価する
法	成果発表 (口頭・実技)	20%	中間発表、最終発表、卒業展展示などについて評価する
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画(1回~15回)

回	授業内容	各回の到達目標			
1回	内容の説明、グループ作成(1)	授業内容を理解する。制作グループを決めることができる			
2 回	グループ作成(2)、リーダーの決定	制作グループを決定し、リーダー、副リーダーを決めることができる			
3 回	テーマの決定	作成するシステムのテーマを決めることができる			
4 🗆	情報収集、仕様や環境の決定(1)	実装する機能、開発する環境などを決定できる			
5回	情報収集、仕様や環境の決定(2)	実装する機能、開発する環境などを決定できる			
6回	スケジュールの説明と設定	今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる			
7回	第一回プレゼンテーション	グループごとにテーマや実装機能、環境などをまとめ、発表ができる			
8 💷	グループごとに作業(1)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
9 回	グループごとに作業(2)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
10回	グループごとに作業(3)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
110	第二回プレゼンテーション	ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う。			
12回	グループごとに作業(4)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
13回	グループごとに作業(5)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる			
14回	最終プレゼンテーション	完成した成果物について、発表ができる			
15回	成果物、資料提出	成果物、作成した資料やマニュアルなどをまとめ、提出する			